

生命科学・医学系研究実施のお知らせ

東京慈恵会医科大学倫理委員会の審査を受け、以下の研究を実施しております。

本研究に関する内容の詳細等、お知りになりたい方は下記【問い合わせ先】までご連絡ください。なお、試料・情報が本研究に用いられることについて、研究の対象となる方（もしくは代理人の方）にご了承いただけない場合は研究対象から除外いたしますので、下記【問い合わせ先】までお申し出ください。

【研究課題名】	ラテックス凝集免疫比濁法による血清 <i>H. pylori</i> 抗体価検査偽陽性が疑われる症例の特徴解明		
1. 研究の目的と方法	<i>Helicobacter pylori</i> (<i>H. pylori</i>) (ピロリ菌) 感染診断の一つであるラテックス凝集免疫比濁法を用いた血清抗 <i>H. pylori</i> 抗体価検査による偽陽性（検査結果が陽性であっても実際はピロリ菌に感染していない状態）の原因や特徴などを解明し、臨床における対策などを検討することを目的としています。東京慈恵会医科大学附属病院新橋健診センターで実施した血清抗 <i>H. pylori</i> 抗体価検査において偽陽性が疑われるケースでは追加解析を実施して <i>H. pylori</i> 感染状況を確認していますが、これらのデータを収集・分析し、その原因や特徴を解析します。		
2. 研究期間	倫理委員会承認日～2027年3月31日まで、研究の実施を予定しています。		
3. 対象となる方等	2024年4月1日から2026年2月18日までの間に東京慈恵会医科大学附属新橋健診センターで血清抗 <i>H. pylori</i> 抗体価検査を受け、その結果が10以上であり、加えて上部消化管検査で <i>H. pylori</i> 感染関連病変を認めなかった18歳以上の方が対象となります。		
4. 研究に利用する試料・情報について	(1) 試料の種類	試料は使用しません。	
	(2) 試料の取得の方法	試料は使用しないため、該当しません。	
	(3) 情報の種類	性別、年齢、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、尿素呼吸検査）	
	(4) 情報の取得の方法	診療録から診療時のデータを収集します。	
5. 研究の実施体制	あなたの試料・情報は、以下の研究者が研究のために利用します。 試料・情報は、(3)の管理責任者が責任をもって、保管・管理します。		
	(1) 当施設の 研究責任者 または研究 代表者	研究機関名	東京慈恵会医科大学 総合健診・予防医学センター
		氏名	伊藤恭子
	(2) 当施設の長	東京慈恵会医科大学 学長 松藤千弥	
	(3) 当施設の 試料・情報の 管理責任者	東京慈恵会医科大学 総合健診・予防医学センター 林 京子	
(4) 共同で研究 を実施する 施設とその 責任者	この研究では共同で研究を実施する機関はありません。		

<p>6. 試料・情報を他機関とやり取りすることについて</p>	<p>この研究では、外部の機関と試料・情報をやり取りすることはありません。 資料・情報の利用開始予定日：2025年3月頃～</p>
<p>【問い合わせ先】</p>	<p>機関名：東京慈恵会医科大学附属病院 総合健診・予防医学センター 研究責任者：教授 伊藤 恭子（いとう きょうこ） 電話番号：03-3433-1111（内線 5280） 対応時間：平日火・木・金曜日 9：00 ～ 13：00</p>

※利用する情報等からは、お名前、住所、電話番号、カルテ番号など、個人を特定できる情報は削除いたします。
研究成果を学会や論文で発表する際も個人が特定できる情報は利用いたしません。